

頁	行	誤	正
86	式(3.1.19)	$R\text{-factor} = \sqrt{\frac{\sum_i k^n (\chi_i^{\text{data}}(k) - \chi_i^{\text{fit}}(k, [\alpha]))^2}{\sum_i (k^n \chi_i^{\text{data}}(k))^2}}$	$R\text{-factor} = \sqrt{\frac{\sum_i [k^n \{\chi_i^{\text{data}}(k) - \chi_i^{\text{fit}}(k, [\alpha])\}]^2}{\sum_i \{k^n \chi_i^{\text{data}}(k)\}^2}}$ <p style="text-align: right;">(カッコの追加)</p>
88	3行目	$R = R_B/R_A$ は,	$R = R_A/R_B$ は,
	式(3.1.23)の4行下	ただし, $k = 3 \sim 13 \text{ \AA}^{-1}$ , $r = 1 \sim 2 \text{ \AA}^{-1}$ で,	ただし, $k = 3 \sim 13 \text{ \AA}^{-1}$ , $r = 1 \sim 2 \text{ \AA}$ で,
	式(3.1.23)の9~10行下	62%近い確率でOの方がよいといえるようになる. さらに $k$ の範囲が $3 \sim 17 \text{ \AA}^{-1}$ となると $M-P = 5$ となり, 67%の確率でOの方がよいといえる.	92%近い確率でOの方がよいといえるようになる. さらに $k$ の範囲が $3 \sim 17 \text{ \AA}^{-1}$ となると $M-P = 5$ となり, 98%の確率でOの方がよいといえる.
	下から4行目	この場合には, $R = R_B/R_A = 3$ である.	この場合には, $R = R_A/R_B = 3$ である.
	最下行	なり, 99.4%の確率で	なり, 94%の確率で
89	1~2行目	(3)結合距離が $2.00 \text{ \AA}$ となったときの $R$ -factor は 0.20 であった. $2.03 \text{ \AA}$ では $R$ -factor は 0.24 であり, $2.04 \text{ \AA}$ では 0.26 であった.	(3)結合距離が $2.00 \text{ \AA}$ となったときの $R$ -factor は 0.447 であった. $2.03 \text{ \AA}$ では $R$ -factor は 0.49 であり, $2.04 \text{ \AA}$ では 0.510 であった.
	3行目	ただし, $k = 3 \sim 15 \text{ \AA}^{-1}$ , $r = 1 \sim 2 \text{ \AA}^{-1}$ で,	ただし, $k = 3 \sim 15 \text{ \AA}^{-1}$ , $r = 1 \sim 2 \text{ \AA}$ で,
	6行目	そのときには 42%の確率で違っている	そのときには 58%の確率で違っている
112	図 3.4.8 真ん中の図	Cr K 吸収端	Co K 吸収端
	本文 6 行目	LiCoO <sub>3</sub> と LiNO <sub>3</sub> はいずれも	LaCoO <sub>3</sub> と LaNO <sub>3</sub> はいずれも
334	上側の表 46 Pd K	左から 106.4 23348.0 4.8575 7.9482 9.3315 14.7163	左から 106.4 24348.0 4.6575 7.6198 8.9450 14.0991